

# 京大リウマチ通信

第3号

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター

2011.8.10 文責：伊藤

## 第55回日本リウマチ学会学術集会在開かれました

2011年7月18日～20日に、神戸国際会議場および神戸ポートピアホテルにて、第55回日本リウマチ学会学術集会在開かれました。もともと4月に東京で開催が予定されていましたが、東日本大震災発生のため急遽延期となり、時期と場所を変更して行われました。また台風6号がちょうど日本にやってきましたが、多くの参加者を集め、熱心な発表と討論が朝から夜まで行われました。特に生物学的製剤の効果についての発表は非常に多く、近年の積極的なリウマチ治療の現状を表していると感じられました。

今回は、学会で討論された三つのトピックスをご紹介します。

### 1) MTX (リウマトレックス) の増量

これまでもMTXはリウマチ治療の中心的な薬でした。しかし日本人に当初設定された週8mgは少なすぎるのではないかと指摘は、認可当初から学会を中心にあり、これに対して学会を中心に厚労省に働きかけ、2011年になって週16mgまで認められるようになりました。これにより、高価な生物学的製剤を使用することなく、多くの方で活動性が抑えられることが期待されます。

また生物学的製剤を使用している患者さんでも、MTXの量を増やすことにより、よりいっそうの効果が期待できます。一方、量が増えることにより副作用が多くなることも懸念されています。

ご自身にどのようなリスクがあるかをよく知って、いたずらに怖がることなく、適切な使用法を主治医の先生と相談していきましょう。



### 2) 関節リウマチにおける画像評価法

これまで関節リウマチの関節の状態の評価には、レントゲン写真が使われてきました。しかし近年の技術の進歩により、関節超音波検査、MRI検査がより簡便に、より精密に行われるようになっていきます。

特に超音波検査は多くの施設でとりいれられようとしており、今後リウマチ治療にはなくてはならないものになっていくことが予想されます。今回の学会でも、実際に検査機器を触って習得するセッションが多く組まれていました。器械の数や時間に制限はありますが、私たちのリウマチセンターでもとりいれています。今後の発展が非常に期待される分野です。



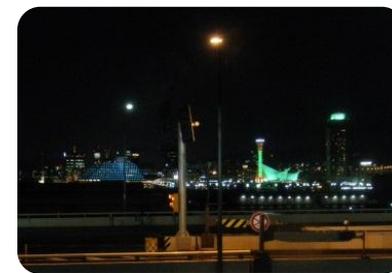
### 3) 外科的治療と薬物治療

学会長が東邦大学整形外科の勝呂教授であったことから、かなり多くのセッションが手術の方法や関節リウマチ治療における手術の意義の討論にあてられました。最近特に注目されているのが、生物学的製剤の投与を受けておられる患者さんに手術をする場合の注意点と対策です。

全体的な流れとして、生物学的製剤使用は手術のリスクを増やすよりも、患者さんの状態を良くすることで手術のリスクを減らすことに貢献していると考えられるようです。ただし術後感染などに対し、従来以上の注意が必要であることも確かです。生物学的製剤を実際に使用している医師が手術もしているという、世界的にみても特別な国である日本から、この課題について世界へ情報を発信していくことが期待されます。



学会会場



港町 神戸の夜景



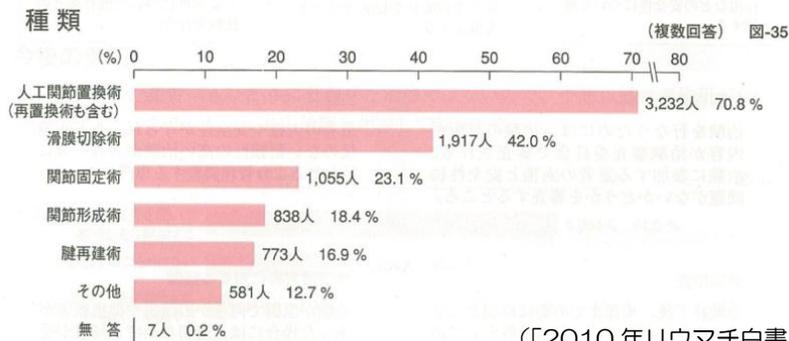
## 関節リウマチの方にとって、手術治療とは？

患者さんにとって、手術治療とは「怖いもの」「嫌なもの」「避けたいもの」であろうかと思えます。私たちリウマチ専門医も、患者さんが手術を受けなくてもいいように、変形が進まないように、日々診療に努力しています。

しかし、ここ10年の目覚ましい薬物治療の進歩によっても、手術は決してなくなってはいません。全体的には減少傾向にあるものの、まだ多くの患者さんが手術を受けられます。

2010年に行われた日本リウマチ友の会の調査でも、調査に回答された方の42.0%の方が手術を受けておられます。ある一定の破壊を来した関節においては、薬の治療では機能を回復することは難しく、日常生活に大きな問題を生じている場合は、手術が選択肢の一つになります。

手術はしないで済むのならそれにこしたことはないですが、特定の関節の特定の障害は、手術によって飛躍的に改善します。手術をやみくもに怖がらず、機能障害が強い関節があれば、主治医の先生とよく相談してみましょう。



## 第1回リウマチ教室が開かれます



関節リウマチ患者さんおよびそのご家族の方が、病気を理解し、治療に取り組み、日常生活を少しでも快適に過ごすことができるようにお手伝いするため、京大病院リウマチセンターでは、患者さんおよびそのご家族の方を対象に、リウマチ教室を開催していくことにしました。

第一回は、日常生活でできるリハビリテーションを、京大病院リハビリテーション部の理学療法士、作業療法士の先生に指導していただきます。ふるってご参加ください。

**日時：平成23年8月31日16時より**  
**場所：京大病院外来1AB受付集合(15時50分)**

注：スペースの都合上、事前予約制とさせていただきます。  
外来1AB受付ないしリウマチセンター外来に申込み用紙をご用意しています。8月22日までに、外来1AB受付ないしリウマチセンターのスタッフにお渡しください。



### 受付時間

午前8時30分～午前11時00分

| 診察室   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  |
|-------|----|----|----|----|----|
| 108号室 | 橋本 |    | 藤井 | 橋本 | 藤井 |
| 109号室 |    | 布留 | 伊藤 | 伊藤 |    |

リウマチに関するご質問や、特集してほしい記事などありましたら主治医もしくは外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

### お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター  
代表電話 075(751)3111 予約電話 075(751)4891  
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54  
ホームページ <http://www.racenter.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

